

平成23年度(2011)の統計と事業

芳賀町総合情報館

目次

1 総合情報館の概要	1p
(1) 設置の目的	
(2) 総合館としてのメリット	
(3) 開館までの経過	
(4) 建物の概要(主な施設の面積)	
(5) 平成 23 年度の組織	
2 図書館の統計と事業	3p
(1) 開館日と入館者数	
(2) 貸出利用者数と貸出資料数	
(3) 新規登録者数	
(4) 受入資料数と除籍資料数	
(5) 所蔵資料(概要)	
(6) 各種のサービス	
(7) 団体貸出	
(8) 図書館の催事	
(9) 学校図書館との連携	
(10) 研修活動	
(11) その他	
3 博物館の統計と事業	7p
(1) 企画展の開催	
(2) 普通収蔵庫の収蔵庫内展示	
(3) 展示室等の貸出	
(4) バスツアー見学	
(5) 資料の収集	
(6) 保存環境整備	
(7) 資料の利用	
(8) 研修活動	
(9) その他	
4 文書館の統計と事業	12p
(1) 資料の移管・収集	
(2) 資料の整理	
(3) 資料の燻蒸処理	
(4) 資料の利用と普及	
(5) 研修活動	
(6) 外部活動	
5 総合情報館の統計と事業	15p
(1) 総合情報館運営協議会	
(2) 研修等の受入	
(3) 視察・施設見学	
(4) 太陽光発電システム	

1 総合情報館の概要

(1) 設置の目的

芳賀町総合情報館は、図書館・博物館・文書館の複合施設として、平成 20 年 10 月 3 日に開館した。芳賀町では、平成 4 年、公民館図書室が芳賀町民会館内に開室されていた。しかし、開架書架も満杯となり、閲覧コーナーの狭隘さ等図書室サービスを十分に展開することは出来ず、平成 10 年代に入り住民から図書館設置が要望され始めた。博物館施設については、昭和 49 年、旧高根沢村役場庁舎を利用して郷土資料館が設置された。この施設は、平成 12 年、廃校となった与能小学校にその機能を移転し引続き運営していたが、十分に活用されているとは言い難い状況だった。文書館は、芳賀町史編さん事業がそのきっかけである。平成 6 年度から本格的に開始された事業が中盤に差し掛かった平成 10 年度の第五回芳賀町史編さん委員会において、収集資料の保存活用について意見が出されたことをきっかけに、文書館構想が浮上した。この頃より、編さん業務とともに、地方公文書館への視察や総務課所管であった町史編さん室を教育委員会に所管変更するなど将来の文書館を見据えた活動が行なわれるようになった。以上のような図書室、郷土資料館、町史編さん室の状況があり、芳賀町の町創りに対する理念等が集約された結果、図書館・博物館・文書館の機能を複合した総合情報館構想へと結実した。

そして、総合情報館は、町民と町が一体となって文化・地域・行政情報資源を収集活用し、社会の急速な変化に十分対応できる、新たな地域創造を図る新世紀芳賀町の生涯学習と文化活動の総合拠点とすることを目標とした。

(2) 総合館としてのメリット

規模の小さな単独館を別々に設置しても、いずれも不十分なものとなりがちである。そのため、総合情報館は町民のニーズの変化や情報の高度化にも対応しやすく、一体的に利用することでその利便性を高めることができるとし、機能の集約性をメリットとして掲げている。

(3) 開館までの経過

平成 15 年 6 月 27 日	第 1 回総合情報館(仮称)設立構想専門委員会
平成 15 年 8 月 5 日	第 1 回総合情報館(仮称)設立構想懇談会開催
平成 15 年 8 月～9 月	各種団体からの意見聴取
平成 15 年 9 月 12 日～ 9 月 13 日	専門委員会、懇談会合同研修会(茨城県八千代町、猿島町、三和町)
平成 16 年 3 月 8 日	専門委員会『芳賀町総合情報館(仮称)基本構想』提出
平成 16 年 5 月 24 日	第 1 回建設委員会開催
平成 16 年 6 月 28 日	第 1 回建設委員会専門部会開催
平成 16 年 11 月 4 日	建設委員会『(仮称)芳賀町総合情報館基本計画書』提出、第 1 回プロポーザル審査委員会開催
平成 16 年 11 月 10 日	基本設計に関するプロポーザル説明会(6 社)
平成 16 年 12 月 18 日	第 2 回プロポーザル審査委員会開催、(株)日本設計の提案採用
平成 16 年 12 月 28 日	(株)日本設計と基本設計の業務委託契約を締結

平成 17 年 3 月 24 日	(株) 日本設計より、基本設計図書納品
平成 17 年 4 月 1 日	生涯学習課に総合情報館推進係設置
平成 17 年 7 月 4 日	(株) 日本設計と総合情報館実施設計業務委託契約締結
平成 17 年 11 月 30 日	(株) 日本設計より、総合情報館実施設計図書納品
平成 18 年 3 月 18 日	総合情報館運営説明会開催
平成 18 年 6 月 2 日	飛島建設(株)と総合情報館建設工事請負契約締結
平成 18 年 9 月 20 日	基礎工事開始
平成 19 年 9 月 28 日	飛島建設(株)より、建設工事完了届提出
平成 19 年 12 月 21 日	愛称を「知恵の環館」に決定する
平成 20 年 4 月 1 日	芳賀町総合情報館設置管理条例制定
平成 20 年 7 月 20 日	総合情報館図書館プレオープン
平成 20 年 10 月 3 日	総合情報館落成式

(4) 建物の概要(主な施設の面積)

敷地面積	4,146.74 m ²	普通収蔵庫	149.25 m ²
建築面積	2,411.33 m ²	特別収蔵庫	48.96 m ²
延床面積	2,959.34 m ²	地域資料庫	185.75 m ²
図書館	963.66 m ²	体験学習室兼作業室	58.07 m ²
展示室 1	99.05 m ²	多目的室	88.45 m ²
展示室 2	134.95 m ²	会議室	14.01 m ²
構造規模	RC造、一部S造、地上 2 階		

(5) 平成 23 年度の組織

芳賀町教育委員会—生涯学習課—総合情報館係—図書館・博物館・文書館

館長(嘱託員)	1 名	係長	1 名
主事補	1 名	用務員	1 名
司書(嘱託員)	2 名	学校図書館司書(嘱託員)	4 名
博物館学芸員(嘱託員)	1 名		11 名

2 図書館の統計と事業

(1) 開館日と入館者数

開館日数	295 日
入館者数	100,861 名
17 時以降入館者数	12,998 名
一日平均入館者数	341 名
17 時以降平均入館者数	44 名

※入館者数:展示室観覧者数等を含む総合情報館全体の入館者数

(2) 貸出利用者数と貸出資料数

貸出利用者数	32,440 名
町内貸出利用者数	17,258 名
貸出資料数	149,507 点
町内貸出資料数	77,979 点
一日平均貸出利用者数	109 名
一日平均貸出資料数	506 点

(3) 新規登録者数

新規登録者数	690 名
町内在住・在勤新規登録者数	272 名

(4) 受入資料数と除籍資料数

受入資料数(寄贈資料を含む)	6,001 点
除籍資料数	875 点

(5) 所蔵資料数(概要)

一般書(雑誌を含む)	49,894
児童書	15,520
絵本	9,656
紙芝居	499
DVD	828
CD	1,723
ビデオ(VHS)	1,320
計(点)	79,440
年度受入雑誌種数	57 種類
年度受入新聞種数	8 種類

(6) 各種のサービス

インターネット利用者数	1,285 名
視聴覚機器利用者数	1,608 名
コピーサービス件数	228 件
資料リクエスト件数	365 件
資料予約件数	1,757 件
レファレンス件数	844 件

(7) 団体貸出

以下の施設に児童書、絵本、紙芝居の団体貸出を行っている。貸出資料数は、1,935 件、14 団体である。

芳賀中学校	南高根沢保育園
芳賀東小学校	のぶ幼稚園
芳賀南小学校	芳賀町保健センター
芳賀北小学校	子育て支援センターあっとほーむ
祖母井保育園	子育てひろば ぴよぴよ
水橋保育園	

(8) 図書館の催事

① 特集展示

月	一般	月	児童
4 月	春を探しに・地震・原発を考える	4 月	春を探しに・地震にそなえる
5 月	栃木を旅しよう	5 月	日本を知ろう・栃木を知ろう
6 月	女性の歴史	6 月	こんな女性になりたい
7 月	エコを考える	7 月	第 57 回青少年読書感想文全国コンクール課題図書
8 月	暑い夏を乗り切ろう！	8 月	夏休み自由研究・工作
9 月	敬老の日	9 月	動物あいご週間
10 月	食欲の秋	10 月	食欲の秋
11 月	読書週間	11 月	読書週間
12 月	クリスマス・お正月	12 月	クリスマス・お正月
1 月	お正月太りを防止しよう！	1 月	辰(龍)の本
2 月	バレンタインデー・男の一生	2 月	バレンタインデー
3 月	新生活をはじめよう	3 月	1年生になるんだもん

②一日図書館司書にチャレンジ

概 要	図書館の利用促進を目的として、カウンター、配架、ブッカー作業等の図書館業務を体験してもらう。
開催期間	平成 23 年 8 月 2 日（火）・8 月 3 日（水）
対 象 者	小学校 3 年～6 年生
参加者数	4 名

③読書まつり

概 要	開館 4 年目を迎え、子どもたちにより本に親しみをもってもらうために「読書まつり」を開催した。
開催期間	平成 23 年 6 月 3 日（金）～7 月 10 日（日）
事 業	利用者図書推薦（50 冊）の掲示：図書館利用者さんからのお薦め本の紹介（開催期間中）
	今村幸治郎“色えんぴつの世界”展：画家今村幸治郎氏の原画展（6 月 3 日～7 月 10 日）
	今村幸治郎講演会「子供の頃からの本との付き合い方」：今村幸治郎氏による講演会（6 月 11 日）
	講談社 本とあそぼう 全国訪問おはなし隊：キャラバンカーの見学とおはなし隊による本の読み聞かせ（6 月 18 日）
	除籍雑誌のリサイクル市：除籍雑誌（1,319 冊）を自由に持ち帰る企画（6 月 3 日～6 月 29 日）

④ブックスタート

概 要	赤ちゃんとその保護者に、楽しく温かいひと時が持たれることを願い、絵本を開く楽しい体験と一緒に、絵本を手渡す活動。芳賀町保健センターにおいて、検診時に、乳幼児に本を配布し読み聞かせを行う。
実施回数	6 回
対 象 者	10 か月健診幼児
配布者数	120 名
配布絵本	『いないいないばあ』（松谷みよ子） 『ぽんぽんポコポコ』（長谷川義史） 『かおかおどんなかお』（柳原良平）

⑤図書館おはなし会

概 要	子どもが楽しんで読書に親しむ機会を提供するため、町おはなしボランティアの方々（9 名）の協力を仰ぎ、おはなし会を開催した。
対 象 者	幼児～小学校低学年
実 施 日	毎週第三土曜日 午後 2 時～15 分程度
実施回数	11 回
参加者数	81 組

(9) 学校図書館との連携

児童、生徒の読書活動を推進し、各学校と総合情報館図書館との連携を強化するために、学校図書館司書の所属を総合情報館係に置いている。学校図書館司書は、学校図書館の運営を行うとともに、土日祝日、夏休み等は、総合情報館図書館の業務に携わっている。

(10) 研修活動

職員の資質向上、他機関との情報交換等を目的として以下の研修に参加した。

研修日	研修内容
平成 23 年 5 月 13 日(金)	平成 23 年度栃木県公共図書館協会総会及び館長会議
平成 23 年 5 月 18 日(水)	平成 23 年度芳賀郡市図書担当者会議（第 1 回）
平成 23 年 5 月 18 日(水)	平成 23 年度レファレンス基礎研修会
平成 23 年 6 月 11 日(土)	平成 23 年度芳賀地区図書館ボランティア研修会
平成 23 年 6 月 29 日(水)	平成 23 年度図書館サービス向上研修会
平成 23 年 7 月 26 日(火)	平成 23 年度市町・学校等子どもの読書活動推進担当者会議
平成 23 年 9 月 7 日(水)	栃木県央公共図書館等連絡協議会担当者研修
平成 23 年 10 月 17 日(月)	平成 23 年度学校図書館研修
平成 24 年 1 月 17 日(火)	平成 23 年度図書館協力ネットワーク研修会
平成 24 年 1 月 25 日(水)	平成 23 年度レファレンス研修会
平成 24 年 2 月 8 日(水)	平成 23 年度児童サービス研修会

(11) その他

- ・栃木県立図書館をはじめとする各機関からの業務照会事項に対応した。
- ・蔵書点検を 9 月 27 日(火)～10 月 3 日(月)の間に実施した。
- ・指定管理者制度について、県内導入市町の主管課へのヒアリング調査及び図書館見学を行い、導入の可否を検討した。
- ・図書館システムの保守期限が平成 24 年度秋に満了となるため、新たなシステム導入について、最新のクラウド型図書館システムを導入している図書館の見学を行い、検討した。

3 博物館の統計と事業

(1) 企画展の開催

① 企画展(3回)

展覧会名	今村幸治郎“色えんぴつの世界”展
会 期	平成 23 年 6 月 3 日（金）～7 月 10 日（日）
観覧者数	6,717 名
展示概要	図書館読書まつりに関連して、画家の今村幸治郎氏の原画展を開催した。

展覧会名	夏休み特集展—町の記憶と考古展—
会 期	平成 23 年 7 月 23 日（土）～8 月 28 日（日）
観覧者数	1,838 名
展示概要	文書館との連携で、町の記録や写真、発掘された考古資料の展示を行い、町の歴史を紹介した。

展覧会名	全日本写真連盟—第 22 回関東本部委員展—
会 期	平成 24 年 1 月 14 日（土）～2 月 19 日（日）
観覧者数	2,203 名
展示概要	全日本写真連盟の関東本部委員による写真展示を行った。

② 企画展関連事業

事業名	講演「子供の頃からの本との付き合い方」
開催日	平成 23 年 6 月 11 日(土)
講師	今村幸治郎氏
参加者数	47 名

事業名	ワークショップ「色えんぴつで描こう」
開催日	平成 23 年 6 月 25 日(土)
講師	今村幸治郎氏
参加者数	24 名

事業名	ワークショップ「まが玉を作ろう」
開催日	平成 23 年 8 月 7 日(日)・8 月 24 日(水)
講師	埋蔵文化財センター職員
参加者数	30 名

事業名	全日本写真連盟一第 22 回関東本部委員展—ギャラリートーク
開催日	平成 24 年 1 月 15 日(日)
講師	関東本部委員・栃木県本部顧問 太田章氏
参加者数	45 名

(2) 普通収蔵庫の収蔵庫内展示

普通収蔵庫内において、考古資料・民俗資料を保管及び展示し、小学校の調べ学習、宿題等の活用に供している。

団体見学	361 名(芳賀南小、芳賀北小、芳賀東小)
個人見学	50 名
計	411 名

(3) 展示室等の貸出 (9 回)

展覧会名	第 4 回芳賀町書道連盟会員展
会 期	平成 23 年 3 月 26 日(土)～4 月 3 日(日)
観覧者数	375 名

展覧会名	あいらぶ写真展・芳賀町写真クラブ写真展
会 期	平成 23 年 4 月 29 日(金)～5 月 15 日(日)
観覧者数	529 名

展覧会名	第 2 回芳賀地区書道会員展
会 期	平成 23 年 9 月 16 日(金)～9 月 19 日(月祝)
観覧者数	164 名

展覧会名	第 18 回芳書会書展
会 期	平成 23 年 10 月 27 日(木)～10 月 30 日(日)
観覧者数	589 名

展覧会名	第 30 回芳賀町民祭 書道展
会 期	平成 23 年 11 月 4 日(金)～11 月 6 日(日)
観覧者数	527 名

展覧会名	芳賀絵画教室作品展
会 期	平成 23 年 12 月 1 日(木)～12 月 25 日(日)
観覧者数	1,650 名

展覧会名	押し花とポーセリンアート展＜多目的室＞
会 期	平成 24 年 2 月 17 日（金）～2 月 26 日（日）
観覧者数	306 名

展覧会名	芳賀町美術展
会 期	平成 23 年 2 月 23 日（木）～3 月 15 日（木）
観覧者数	1,165 名

展覧会名	第 5 回芳賀町書道連盟会員展
会 期	平成 24 年 3 月 18 日（日）～3 月 25 日（日）
観覧者数	520 名

(4) バスツアー見学

平成 23 年は青木繁没後 100 年であったため「没後 100 年 青木繁展—よみがえる神話と芸術」青木繁の作品展（東京都中央区 ブリジストン美術館）を見学した。

実施日	参加者数
平成 23 年 8 月 3 日	29 名
平成 23 年 8 月 27 日	24 名

(5) 資料の収集

①個人所有の資料について、寄贈受入を行った。

資料名	数量
十三仏図(大根田秀齊作)	1
正和 4 年 12 月日 釈迦一尊種子板碑(芳賀町指定文化財)	1
年月日未詳 阿弥陀一尊種子板碑	1

②寄託資料について、寄託期間が満了したので更新を行った。

寄託資料名	幹の肖像(伝 青木繁筆)
寄 託 期 間	平成 23 年 7 月 26 日～平成 26 年 7 月 25 日

(6) 保存環境整備

①燻蒸情報館で資料を収蔵・展示する空間を整えるため、毛髪式温湿度記録計・パッシブインジケータ（酸用・アンモニア用）で環境調査を行い、状況に応じて温湿度の設定の変更、収蔵庫内の空気の入替えなどをし、常に収蔵庫内の環境改善に努めた。

②今年度は夏の節電対策により、空調設備の稼働時間の検討をした。特に、収蔵資料・展示資料の保護を考えると収蔵庫内の節電には限界があるため、事務室などバックヤードの節電に努めた。

③以前から有機酸が検出され、使用不能であった特別収蔵庫内の着物棚の処置として、着物棚の前室への移動と詳細な環境調査の実施を行い、来年度以降活用できるようにする予定

である。

④普通収蔵庫は建物内からのアンモニア、民具などからの臭気の発生があった為、気候の安定した日（冬期）に空調を外循環にして収蔵庫内の空気の入れ替えを行った。

(7)資料の利用

①資料の利用

学術研究、報道番組制作等の調査のため、博物館資料が利用された。

利用資料名	件数
福田家旧居写真	1
けしけし山の思い出	1
作曲をする蘭童	1
館山の茶屋	1
50 年前の布良	1
免の内台遺跡出土 新羅系土器	1
免の内台遺跡出土 製塩土器	1

②貸出

出 展 先	栃木県立博物館
貸出期間	平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日
催 事 名	常設展
貸出資料	免の内台遺跡出土 磨製石鏃(1 点)、谷近台遺跡出土 有舌尖頭器(1 点)

出 展 先	栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
貸出期間	平成 23 年 9 月 7 日～平成 23 年 12 月 22 日
催 事 名	第 25 回秋季特別展「ムラから見た奈良・平安時代展」
貸出資料	免の内台遺跡出土 新羅系土器(1 点)、免の内台遺跡出土 製塩土器(1 点)

出 展 先	東京都美術館
貸出期間	平成 24 年 3 月 28 日～平成 24 年 6 月 5 日
催 事 名	「公募団体ベストセクション美術 2012」展
貸出資料	華厳シリーズ華厳'09（林香君作）(1 点)

③出版掲載

出版掲載申請資料	利用先
50 年前の布良	福岡ユネスコ協会会誌『FUKUOKA UNESCO』47 号
免の内台遺跡出土製塩土器	栃木県立しもつけ風土記の丘資料館「ムラから見た奈良・平安時代展」図録

館山の茶屋	『芸術新潮』(「特集没後 100 年青木繁 ゴーマン画家の愛と孤独」)平成 23 年 7 月号
「福田家旧居写真」、「けしけし山の思 い出」、「作曲をする蘭童」	久留米市観光ガイド図録作成
免の内台遺跡出土新羅土器実測トレー ス図	重見泰『土器からみた日本と新羅の国家 形成』(仮)

(8) 研修活動

職員の資質向上、他機関との情報交換等を目的として以下の研修に参加した。

研修日	内容
平成 23 年 6 月 2 日(木)	平成 23 年度博物館文化財セミナー
平成 23 年 6 月 14 日(火)	アートリンクとちぎ(館外展)担当者会議
平成 23 年 6 月 28 日(火)	埋蔵文化財保存処理研修会(講話)
平成 23 年 7 月 1 日(金)	埋蔵文化財保存処理研修会(実技)
平成 23 年 9 月 8 日(木)	栃木県博物館協会第 2 回理事会・研修会(栃木県な かがわ水遊園)
平成 23 年 11 月 17 日(木)	栃木県博物館協会県外視察研修会(東京国立博物 館)
平成 24 年 2 月 17 日(金)	東京文化財研究所主催 「文化財の保存環境を考慮 した博物館の省エネ化」に関する研究会—博物館・ 美術館におけるエネルギー削減—

(9) その他

- ・東日本大震災により破損した設備・備品・資料の修理・修復を行った。

金井台遺跡出土縄文土器(1 器): 落下により大破した。修復は平成 24 年度実 施予定
毛髪式温湿度記録計(3 台): 転倒により故障し、平成 23 年 5 月に修理完了
展示室 1 および 2 のウォールケースのガラスの亀裂破損: 平成 23 年 11 月、ガ ラス交換完了
展示室 1 及び 2 の照明器具: ハンガー外れ防止金具の取付

・民具資料(土摺臼・明治時代～昭和 10 年代)について、県埋蔵文化財センター職員の指
導を仰ぎ、保存処理を行った。

・平成 23 年 10 月より、町民が所蔵する絵画、書、工芸等の資料展示の場を提供し、芸術・
文化の振興を図るため、北側 BDS 横にミニギャラリーを開設し、陶芸作品等の展示を開始し
た。

4 文書館の統計と事業

(1) 資料の移管・収集

① 文書の移管

- ・各課から保存期間満了文書(39箱)の受け入れを行い、総合情報館分館に保管した。
- ・各課等で作成された刊行物を収集するとともに、各課から依頼のあった歴史資料となる可能性のある文書等を随時受け入れた。
- ・農業者トレーニングセンター書庫に保管していた生涯学習課保存期間満了文書(25 箱)を収集した。

② 資料の寄贈

個人所有の資料について、寄贈受入を行った。

資料名	数量
栃木県名士肖像録(明治 38 年 5 月 22 日)	1
言海(明治 31 年 2 月)	1
芳賀郡管内全図(明治 43 年)	1
水橋村全図(明治 42 年)	1

(2) 資料の整理

未整理資料の整理を促進し、利用を可能にするため、緊急雇用創出事業補助交付金を活用し、未整理資料の整理を行った。

(上半期)

作業期間	平成 23 年 5 月～平成 23 年 10 月	
作業人員	5 名	
交付金予算	9,507 千円	
整理資料群	作業内容	資料数
芳賀町のあゆみ	PDF 化	88 件
旧南高根沢村役場文書	クリーニング、綴じ直し等簡易修復等	98 箱
学校資料	クリーニング・概要目録作成	267 箱
地域刊行物	既存受入分の収納状況確認作業	796 件

(下半期)

作業期間	平成 24 年 1 月～平成 24 年 3 月	
作業人員	4 名	
交付金予算	3,100 千円	
整理資料群	作業内容	資料数
旧南高根沢村役場文書	クリーニング、資料番号の付与等	3633 件
永年保存文書	目録作成／BOX 収納	412 件／132 箱
芳賀町のあゆみ／広報はが	PDF 化	160 号

(3)資料の燻蒸処理

クリーニングが終了した旧南高根沢村役場文書の燻蒸を行った。薬剤は、アルプ(酸化プロピレンとアルゴンの混合剤)を使用し、委託会社保有燻蒸施設に資料を一時引き渡して作業を行った。

(4)資料の利用と普及

①レファレンス

芳賀町の歴史・文化に関する問い合わせに対応し、文書館資料等の提供を行っている。平成 23 年度は、町内外の利用者、役場職員を含めて 66 件の問い合わせがあった。

レファレンス事例

質問 1	祖母井村出身の「鉄研竜」について知りたい。
回答 1	明治・自由民権運動期の政治家、横堀三子のことである。衆議員議員、芳賀郡長等を務めた。諱は「竜」、字は「雲卿」、号は「鉄研」。①『しもつけ物語 人物編 第 4 集』68p、②『栃木県歴史人物事典』633p、③『明治大正言論資料 20』298p に該当する人物の記載がある。
質問 2	祖母井の夏祭りについて、知りたい。
回答 2	『芳賀町史通史編 民俗』340～345pに当該記述がある。また『芳賀の民俗 芸能』90～94pに代町他のお囃子の由来が記載されており、祭りの由来に知ることができる。
質問 3	与能の安住神社について、祭神や創設の由来を知りたい。
回答 3	①『芳賀町史通史編 民俗』351p②『栃木県神社誌』310p③『芳賀町の郷土誌』14p に当該神社の記述がある。神社については、神社誌の記述が詳細な場合もある。

②資料の展示

博物館との連携で、「夏休み特集展—町の記憶と考古展—」（平成 23 年 7 月 23 日（土）～8 月 28 日（日））を開催し、芳賀町合併文書、旧祖母井中学校沿革誌、南高根沢村公民館活動写真、芳賀町航空写真などの文書館資料を展示し、町の歴史について理解を深めてもらうための展示を行った。

③文書館講座

芳賀町を中心とする地域の歴史に触れることにより、参加者の地域アイデンティティを醸成するとともに、記録資料等の保存の大切さ等を学び、芳賀町総合情報館の開設意義等を深める機会とする。

第 1 回「郷蔵における村の貯穀運用と百姓間の取り決め—江戸時代後期から明治期にかけて—」

開催日	平成 23 年 11 月 19 日(土)
講師	中谷正克氏(日本銀行金融研究所アーカイブ)
参加者数	22 名

第2回「昭和天皇の栃木巡幸と栃木県—公文書・地方紙からみる歴史—」

開催日	平成23年12月17日(土)
講師	瀬畑源氏(一橋大学特任講師)
参加者数	18名

(5) 研修活動

職員の資質向上、他機関との情報交換等を目的として以下の研修に参加した。

研修日	内容
平成22年6月2日(木)	平成23年度博物館文化財セミナー
平成23年10月5日(水)	市町文書保存担当者講習会
平成24年2月15日(水)	江東区区政資料室見学
平成24年3月3日(土)	関東近世史研究と自治体史編纂に関する研究会

(6) 外部活動

さくら市の歴史的行政文書の評価選別作業について、助言・支援を行った。

実施日	平成23年8月12日(金)
場所	旧さくら市立河戸小学校

富山県歴史資料保存利用機関連絡協議会において、講演を行った。

開催日	平成23年7月14日(木)
会場	富山県公文書館 (参加自治体職員数20名)
演題	芳賀町総合情報館を事例とした地方自治体の文書館運営について

5 総合情報館の統計と事業

(1) 総合情報館運営協議会

総合情報館の円滑な運営を図るために、芳賀町の各種団体の代表者、学識経験者等(10名)により構成し、運営内容の検討、指定管理者制度の研究等を行った。

開催日	協議事項
平成 23 年 7 月 29 日(金)	・平成 22 年度事業実績について ・平成 23 年度運営等について
平成 23 年 11 月 25 日(金)	・平成 23 年度事業経過について ・平成 24 年度事業計画、運営について ・県内指定管理者図書館調査結果について

(2) 研修等の受入

受入日	内容
平成 23 年 11 月 17 日(木)～11 月 18 日(金)	芳賀中学校マイチャレンジ推進事業で、中学 2 年生 2 名を受け入れ、図書館業務を中心とする就業体験を行った。

(3) 視察・施設見学

受入日	視察・見学者
平成 23 年 6 月 23 日(木)	芳賀南小学校 3 年生施設見学 (53 名)
平成 23 年 11 月 29 日(火)	埼玉県三郷市文化財保護審議委員会 (7 名)

(4) 太陽光発電システム

総合情報館では、環境に配慮した施設となるように、最大発電量約 7.5kwの太陽光発電設備を設置している。平成 23 年度発電量は、5938.294kw。

芳賀町総合情報館（知恵の環館）

〒321-3304

栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井 1078

TEL 028-677-2525／FAX 028-677-2886

E-MAIL johokan@town.haga.tochigi.jp

<http://www.town.haga.tochigi.jp/jouhoukan/index.html>

発行日：平成 24 年 8 月 1 日

発行：芳賀町生涯学習課総合情報館係